



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社ジャストシステム
 コード番号 4686 URL <https://www.justsystems.com/jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関瀬 恭太郎

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 重田 裕史

TEL 03-5324-7900

定時株主総会開催予定日 2021年6月24日

配当支払開始予定日

2021年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	41,174	12.8	15,069	15.2	15,202	16.0	10,957	18.0
2020年3月期	36,503	27.4	13,084	72.2	13,106	70.3	9,287	49.5

(注) 包括利益 2021年3月期 10,914百万円 (17.4%) 2020年3月期 9,294百万円 (50.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2021年3月期	170.62		19.6	21.8	36.6
2020年3月期	144.61		20.0	22.9	35.8

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期	75,401	61,074	81.0	950.96
2020年3月期	64,196	50,802	79.1	791.02

(参考) 自己資本 2021年3月期 61,074百万円 2020年3月期 50,802百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	12,995	3,816	641	47,494
2020年3月期	16,076	4,254	641	38,940

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2020年3月期		5.00		5.00	10.00	642	6.9	1.4
2021年3月期		5.00		8.00	13.00	834	7.6	1.5
2022年3月期(予想)		8.00		8.00	16.00			

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

連結業績予想につきましては、現時点では合理的な算定が困難であるため、記載しておりません。なお、現時点で将来の業績を予測するために有用と思われる情報を、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況(今後の見通し)」に記載しておりますので、ご覧ください。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	64,224,800 株	2020年3月期	64,224,800 株
期末自己株式数	2021年3月期	783 株	2020年3月期	735 株
期中平均株式数	2021年3月期	64,224,054 株	2020年3月期	64,224,073 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	40,983	12.8	14,998	15.3	15,150	16.2	10,945	17.4
2020年3月期	36,317	27.8	13,013	73.2	13,039	71.3	9,320	49.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	170.43	
2020年3月期	145.12	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	75,492		61,006		80.8		949.90	
2020年3月期	64,316		50,698		78.8		789.40	

(参考) 自己資本 2021年3月期 61,006百万円 2020年3月期 50,698百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間および第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染症流行のために停止していた経済活動が徐々に再開されたことにより、個人消費、生産及び輸出は持ち直しの動きが見られるものの、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況下において、当社グループは、高機能で付加価値の高い新商品・サービスを提供することにこだわり、既存ビジネスによる安定した収益を基盤としつつ、個人向け・法人向けともに売上高の拡大に向けた提案力の強化や、新たな収益の柱となる新商品・サービスの企画、開発に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は411億74百万円（前期比12.8%増）、営業利益は150億69百万円（前期比15.2%増）、経常利益は152億2百万円（前期比16.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は109億57百万円（前期比18.0%増）となりました。営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも株式上場以来の最高益を更新しました。

当社はソフトウェア関連事業の単一セグメントであります。個人向け・法人向けに分類すると、個人向け事業の売上高は313億38百万円（前期比40.9%増）、法人向け事業は98億36百万円（前期比31.0%減）となりました。

また、サブスクリプション方式で商品・サービスを提供している事業によるストックビジネスの売上高は280億41百万円（前期比47.3%増）、全社売上高に占める割合は68.1%になりました。

② 今後の見通し

今後の日本経済につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による経済活動の大幅な停滞等の影響により、内外経済をさらに下振れさせるリスクがあり、先行き不透明な状況が続くと見込まれます。

このような経営環境の中で、当社は個人向け・法人向けに幅広く商品・サービスを提供できる強みを活かして継続的かつ安定的に収益を確保できる体制を整備・推進してまいります。そして、当社の商品・サービスを通じてお客様や社会の発展に資することで、株主の皆様やお客様、市場、さらには社員が求める企業価値を総合的に高めていくことが重要であると考えております。

当社は、経営指標の中でも、特に「一人当たりの営業利益額」の継続的な拡大を重視しており、既存商品については機能強化を継続することで顧客満足度を高め、他方では新商品・サービスの企画、開発により顧客層を拡大することで、継続的な事業拡大と企業価値の向上を目指します。

また、組織の活性化と人事制度の強化拡充を進め、常に変化し、成長し続ける企業体質の構築に努めます。

当社グループが属するIT業界は、事業環境が短期的に大きく変動する傾向にあり、通期の業績予想について信頼性の高い数値を合理的に算出することは難しいと考えておりますが、「継続的な増収増益」を目指し、スピードを意識して新商品・サービスの企画、開発の推進、将来に向けた積極的な成長投資等を実行してまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ112億4百万円増加し、754億1百万円となりました。これは現金及び預金が135億98百万円増加したこと、有価証券が30億円減少したことが主な要因です。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億32百万円増加し、143億26百万円となりました。これは前受収益が19億10百万円増加したこと、未払法人税等が9億6百万円減少したことが主な要因です。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ102億72百万円増加し、610億74百万円となりました。

これは利益剰余金が103億15百万円増加したことが主な要因です。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、474億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ85億53百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加額は、129億95百万円となりました。税金等調整前当期純利益151億30百万円、減価償却費17億99百万円、法人税等の支払額50億14百万円が主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少額は、38億16百万円となりました。定期預金の預入による支出50億2百万円、短期的な資金運用を目的とした有価証券の償還による収入30億円、新商品・サービスのソフトウェア開発に伴う無形固定資産の取得による支出18億7百万円が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少額は、6億41百万円となりました。配当金の支払額6億41百万円が主な要因です。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	79.1%	77.0%	84.3%	79.1%	81.0%
時価ベースの自己資本比率	210.8%	352.6%	361.9%	491.7%	515.3%

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

※有利子負債がありませんので、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは該当ありません。

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株控除後）により算出しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,408	56,007
受取手形及び売掛金	3,212	3,056
有価証券	3,000	—
商品及び製品	848	825
原材料及び貯蔵品	665	1,278
前払費用	3,398	3,613
その他	678	739
貸倒引当金	△35	△43
流動資産合計	54,177	65,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,439	9,445
工具、器具及び備品	1,562	1,595
土地	3,569	3,569
減価償却累計額	△8,229	△8,420
有形固定資産合計	6,340	6,190
無形固定資産		
ソフトウェア	2,446	2,394
ソフトウェア仮勘定	187	394
その他	0	0
無形固定資産合計	2,634	2,790
投資その他の資産		
投資有価証券	47	30
繰延税金資産	688	643
その他	498	459
貸倒引当金	△190	△190
投資その他の資産合計	1,043	943
固定資産合計	10,018	9,923
資産合計	64,196	75,401

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,381	1,232
未払金	1,664	1,856
未払法人税等	3,537	2,630
未払消費税等	945	775
前受収益	4,809	6,719
賞与引当金	462	575
返品調整引当金	80	—
その他	404	415
流動負債合計	13,285	14,206
固定負債		
退職給付に係る負債	85	96
その他	23	23
固定負債合計	108	119
負債合計	13,394	14,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,146	10,146
資本剰余金	12,293	12,293
利益剰余金	28,420	38,736
自己株式	△1	△1
株主資本合計	50,859	61,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	8
為替換算調整勘定	△71	△102
退職給付に係る調整累計額	10	△6
その他の包括利益累計額合計	△57	△100
純資産合計	50,802	61,074
負債純資産合計	64,196	75,401

(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	36,503	41,174
売上原価	9,603	11,268
売上総利益	26,900	29,906
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	6,379	7,198
従業員給料及び手当	1,505	1,472
賞与引当金繰入額	247	295
退職給付費用	35	43
研究開発費	812	1,256
減価償却費	98	96
その他	4,735	4,474
販売費及び一般管理費合計	13,815	14,837
営業利益	13,084	15,069
営業外収益		
為替差益	—	75
受取利息	31	8
受取賃貸料	35	45
その他	26	26
営業外収益合計	92	156
営業外費用		
為替差損	44	—
賃貸費用	2	3
固定資産除却損	7	0
その他	15	19
営業外費用合計	71	23
経常利益	13,106	15,202
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
減損損失	54	71
投資有価証券評価損	1	1
特別損失合計	55	72
税金等調整前当期純利益	13,050	15,130
法人税、住民税及び事業税	3,953	4,129
法人税等調整額	△190	43
法人税等合計	3,763	4,172
当期純利益	9,287	10,957
親会社株主に帰属する当期純利益	9,287	10,957

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	9,287	10,957
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	4
為替換算調整勘定	21	△30
退職給付に係る調整額	△7	△17
その他の包括利益合計	7	△42
包括利益	9,294	10,914
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,294	10,914
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3)連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,146	12,293	19,775	△1	42,214
当期変動額					
剰余金の配当			△642		△642
親会社株主に帰属する 当期純利益			9,287		9,287
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	8,645	△0	8,645
当期末残高	10,146	12,293	28,420	△1	50,859

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	9	△93	18	△64	42,149
当期変動額					
剰余金の配当					△642
親会社株主に帰属する 当期純利益					9,287
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△6	21	△7	7	7
当期変動額合計	△6	21	△7	7	8,652
当期末残高	3	△71	10	△57	50,802

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,146	12,293	28,420	△1	50,859
当期変動額					
剰余金の配当			△642		△642
親会社株主に帰属する 当期純利益			10,957		10,957
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	10,315	△0	10,315
当期末残高	10,146	12,293	38,736	△1	61,175

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	3	△71	10	△57	50,802
当期変動額					
剰余金の配当					△642
親会社株主に帰属する 当期純利益					10,957
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	4	△30	△17	△42	△42
当期変動額合計	4	△30	△17	△42	10,272
当期末残高	8	△102	△6	△100	61,074

(4)連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	13,050	15,130
減価償却費	1,966	1,799
賞与引当金の増減額 (△は減少)	139	113
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	41	△80
受取利息及び受取配当金	△32	△9
為替差損益 (△は益)	44	△75
減損損失	54	71
売上債権の増減額 (△は増加)	119	158
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△106	△589
仕入債務の増減額 (△は減少)	157	△148
未払金の増減額 (△は減少)	32	160
未払消費税等の増減額 (△は減少)	888	△170
前受収益の増減額 (△は減少)	1,189	1,920
前払費用の増減額 (△は増加)	△502	△214
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△30	△5
その他	21	△63
小計	17,034	17,996
利息及び配当金の受取額	35	13
法人税等の支払額	△993	△5,014
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,076	12,995
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△302	△5,002
有価証券の取得による支出	△3,000	—
有価証券の償還による収入	9,400	3,000
有形固定資産の取得による支出	△127	△27
無形固定資産の取得による支出	△1,718	△1,807
投資有価証券の売却による収入	—	23
その他	2	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,254	△3,816
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△641	△641
財務活動によるキャッシュ・フロー	△641	△641
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	19,682	8,553
現金及び現金同等物の期首残高	19,258	38,940
現金及び現金同等物の期末残高	38,940	47,494

(5)連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)及び当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社グループはソフトウェア関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	791.02円	950.96円
1株当たり当期純利益	144.61円	170.62円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	9,287	10,957
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	9,287	10,957
普通株式の期中平均株式数(株)	64,224,073	64,224,054

(重要な後発事象)

該当事項はありません。